

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援事業所まっぷ2nd		
○保護者評価実施期間	令和7年9月24日	～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちの特性や子どもと保護者のニーズに合わせて目標の設定と支援	・それぞれの子どもの特性や発達段階、環境を意識している。 ・アセスメントからはじめ、それぞれの子どものイメージを確認し、本人ができそうな内容を目標に設定し、本人の気づきや学びが深まるように課題設定をしている。	・支援の質を高める為に、事業所内での研修や外部の研修等への参加 ・生活全般で同じ方向性で支援ができるように多職種との連携を深める
2	・子どもたちが安心して通所してくれている。	・子どもたちが安心安全に学べるように構造化された環境で活動している ・子ども達の興味関心などを活用し、活動内容や個別の課題など設定している。 ・通所することが不安にならないにお知らせ等の予告や事業所内の見通しを本人に伝えている。	・個別の設定と全体の設定を織り交ぜながら、子ども達が安心できる環境を継続的調整していく。
3	・保護者からの相談への対応	・保護者からの相談に対しては、懇切丁寧に対応している。 ・日程調整等できるだけ迅速に対応できるように心がけている。	・助言等のスキル等を高める為に研修などへの参加 ・保護者会などと連携し、保護者同士が話せる場など機会を設定していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止マニュアルなど各種マニュアルの周知。説明。	・契約時の説明がメインであり、定期的なマニュアルについての説明が不足している	・定期的な周知する方法を検討する ・広報誌等の活用
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	・事業所を利用しているお子さん、保護者のニーズの確認不足 ・放課後児童クラブ、児童館等とかわる機会の少なさ ・企画や設定案等	・子どもと保護者のニーズを確認し、どのような形態、企画が良いかを事業所内で検討していく。 ・また、土曜余暇セッション等を活用しながら地域の行事等に参加できる機会を検討していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 通所支援事業所まっぷ2nd

公表日 2025年12月11日

利用児童数 36

回収数 27

		チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	2		・契約時の重要事項説明書での説明と合わせて、ホームページや広報誌等で情報を公開していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	2	0	1		・お子様が学びやすい構造化された環境設定を行っております。怪我等の際には、こちらで配慮、サポートさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	0	・マップさんから帰ってくるかどうか？と聞かなくても色々あったことを話すので心を開かない方なのにとても上手いなと感謝しかない	・今後もそれぞれのお子さんの特性に対応した個別の支援に取り組んでいけるよう、支援の質を高めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	2		・公表している支援プログラムについてご質問等ありましたらスタッフにお伝えください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	2	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	2		・今後もそれぞれの子どもの気づきや特性、や保護者様のニーズにも踏まえた個別支援計画を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	0	2		・それぞれの子どもに合わせたプログラムを計画実施していきたいと思ます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	5	14	・他機関との交流はないが必要に応じて利用者同士の交流を持たせてもらっているのが今の状態で満足している。また不登校児の支援となると他機関との交流以前に本人の支援が必要と思われるので無理に交流の機会を設ける必要はないと思う。	・子どもたちの状態やニーズに合わせた交流の仕方を今後検討していきたいと思ます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24	1	0	2		・契約時に丁寧な説明を行えるように心がけていきます。ご不明な点に関してましては、いつでも対応いたします。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1	0	0	未回答1 ・子どもだけではなく、勉強会など保護者への様々な支援が素晴らしいと思ます。 ・毎回平日なので、なかなか参加が難しいです ・こまめに連絡下さってます	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2	0	1	・子どもの行動で困ったときに、いつもLINE等でアドバイスをくださるので助かっています。	・モニタリングミーティング以外にも相談できる機会を設定していきたいと思ます。お気軽にお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	17	2	1	7	・保護者会を開いて、先輩の保護者の方々とお話できる機会を作ってください。本当に有り難いです。	・保護者会以外の交流に関しましては、どのような設定が良いかを検討していきたいと思ます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	0	0	0	・学校での難しい問題にも、お時間を取って一緒に考えてくださって、心の負担が軽くなります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	2		・月1回のペースで広報誌を作成しております。その他情報も円滑に発信できるように調整していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	11		・各マニュアルを作成しております。半年に1回のペースで避難訓練を実施しています。マニュアルについて周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	14	・しているかもしれませんが、すみません	・半年に1回避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	6		・送迎の際など子どもたちの安全に配慮しながら支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	9	・怪我や事故が今までない為わかりません	・法人内での月1回ヒヤリハットの内容を確認し、情報共有を行っております。事故が起きた場合には速やかにご連絡させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	2	0	0	・いつも、ありがとうございます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	6	0	0	・面倒臭がりやで本当は家にいたいと思っておりますが、switchが出来るからと気持ちを切り替えている様です。 ・気持ちは悪いませんが、多分そうだと思います。 ・まだ慣れてないので。	・子どもたちが安心安全に活動できるように環境調整や支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1	0	0	・まっふに通うことが出来て、わが子も家族も自分たちらしく、より自分に満足することが出来ています。皆さんの専門性と温かい心遣いに感謝の気持ちでいっぱいです。子どもの更に成長して行く姿を楽しみにしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 ・まっふの皆さまの支援に、心より感謝しております。ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		通所支援事業所まっぷ2nd			公表日	2025 年12月11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・複数の個別のスペースと集団で過ごすスペースが確保され多様な支援ができる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・それぞれのスタッフが支援の形体に柔軟に対応し、全員で共通理解した上で支援を進め支援の幅を広げている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・子どもが主体となり活動できるように、活動の目的と活動の場を事前に子どもにも周知し、意識させ支援を行っている。特に二期建ての建物を主体性を持たせるために一階は集団の中の個室は一人で学ぶ場、スタッフと学ぶ場と工夫し活用している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・3の回答と同じ ・毎日の職員の清掃、活動終了時の整理整頓に心がけ、全ての子どもたちが心地よく活動できるように努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・静と動、集中力の必要な活動に対する個室がしっかり確保されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・リーダーを中心に振り返りと改善の機会が確保されている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・活動後の本人の様子や気づきなど時間をかけ、保護者に伝えていく。また、家庭との連携の必要性から家庭でできる支援などを伝え支援の充実を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員の数も適正であり、話しやすい雰囲気できており、共通理解を図りながら支援している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	・運営委員会、評議委員会をはじめ、第三者の会合も定期的に実施され、代表から改善点なども知らされている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・全員が参加する定例の研修会、外部で行われる研修会にも積極的に参加できる体制ができていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・それぞれの専門性を生かして資料が提供されたりしながら、支援プログラムが作られそれに基づき実践がなされている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・多様な取り組みなど常に研修がなされ生かされている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・対応するスタッフの支援内容を管理責任者が把握して活動プログラムを作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・ソフトを活用し全員の活動を把握しながら支援がなされている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・同一方向の実践を大事にしている。アセスメントなど、定期的な事業所内研修会で共通理解され統一したものになっている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・スタッフ一人一人の意識はサービスガイドラインに合致したものになっていると思う。全てを網羅したものになっていると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・ベテランが、経験の浅いものに対する支援体制がしっかりできておりそれが引き継がれている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・研修を通して改善が常になされている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・施設的环境など集団の場と個別の場が整理され、子どもたちは活動しやすいと考える。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・毎日の打ち合わせを実施しており、大事なことが、周知される体制ができています。 ・パタパタしてできない時もあるが後日話をするようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・時間がない場合は翌日確認できる体制ができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・誰が関わっても適切な支援ができるように記録はしっかりとできています。 ・その日のうちに記録する	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・研修の内容に網羅されており、職員の共通理解がなされている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0	・定着していると考えます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・目的は子どもの自立、自律であり計画も立てられている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・定期的実施されている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・連携なしでは支援できない。連携の必要性からいろいろな関係機関との連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・学校との連携、送迎時のトラブルを避けるため、随時連絡を取り合うように努力している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・必要性からいろいろな取り組みを実施している	主に小学4年生以上（例外あり）を対象としており、担当者会議等を通じて事業所等と連携をし情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	・サポートネットワーク会議を実施して連動しての支援を進めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	・積極的に研修会に参加し情報を集めている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・子どもの中には児童クラブと併用し支援を受けている子どもも少なくない。連携は重要だと考える。	子どもや保護者のニーズを確認し、必要に応じて他機関との交流をも検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・行政主体の会議には積極的に参加し研修を深めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・前回回答と同じ	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・まっふ主催の研修会も実施しほごしやへの理解を深めている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・継続して行きたい。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・まっふ主催の集まりを実施し、保護者の意見、要望を聴く機会を作っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・随時心がけている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	法人内で月に1回のリスクマネジメント委員会を開催し、情報共有、対応、対策を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・配信には細部に気を付け実施している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		事業所開所時に地域にむけての見学会を実施している。必要に応じて地域の方々を招く行事等を計画してく、
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			